

図書だより



2023年12月号



冬休み目前！おうち時間のおともに、本を。



★冬休みの貸し出し

期 間 : 12月1日(金)～12月22日(金)

貸出冊数 : ひとり5冊まで 期間中、借り換えできます

返却日 : 1月12日(金)まで

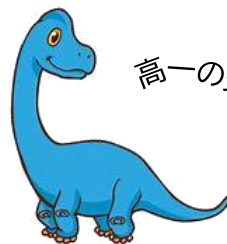
長い小説ばかりでなく、眺めて楽しい本、短時間で読み切れる本、どのページからでも読める本、あります。受験生の気分転換にもぜひ！

～おうちの方へ～

下福田中の図書館の本はおうちの方も借りられます。三者面談など学校にお越しの際には、どうぞ図書館をご利用ください。

★学期末スペシャル

YS 恐竜ワークショップ



高一の先輩が語る

本校の2022年度卒業生、湘南台高校1年の田中沙京さんが恐竜の魅力をとことん紹介してくれます。

恐竜が大好きな田中さん、そのトークはユーモアにあふれ、恐竜のことを全く知らない人でも楽しめるものであることは、昨年のS中祭の発表で実証済みです。再びその話が聞けるとは、なんと貴重な機会でしょう！恐竜の話はもちろんのこと、恐竜研究の舞台裏についても紹介して下さるそうです。

恐竜が好きな人、田中先輩の話が聞きたい人、発表がうまくなりたい人、楽しい時間を過ごしたい人、ぜひ参加してください。お待ちしております。

日時： 12月20日(水) 15時30分～16時

申し込みは図書館まで



★図書館からおすすめ

ノンフィクション

「13歳からの地政学 カイゾクとの地球儀航海」

高1の大樹と妹の杏は、近所のアンティークショップで素敵な地球儀を見つけました。その店主は、7日間、店に通って最後に問題に答えられたら、その地球儀をくれると言います。店主が話してくれたのは地政学。地球が温暖化すると得する国がある？なぜ中国は南シナ海をほしがる？

地球上のどこに位置するかで、それぞれの国が見ている景色や目指すことが全然違うことがわかります。店主の話聞くように読むうちに、ニュースの裏側が見えてきます。

田中孝幸/
東洋経済新報社
(312タ)

小説

「飛ぶ教室」

ドイツの全寮制の中学・高校の少年たち。クリスマス休暇に家に帰れるのをだれもが楽しみにしている、その数日前のできごとです。

「飛ぶ教室」というのは劇の題名。学期の最終日に、クリスマスをもじったオリジナルの劇をすることになり、みんなその準備に大忙しです。そこへ他校の生徒とのけんかなど、事件が次々に起こります。少年たちはひとりずつ、人に言えない悩みや葛藤があることがだんだんわかってきます。周りの大人たちは、頭ごなしに決めつけるのではなく、話を聞いて見守り、必要な時には一歩踏み込んで手を差し出します。本の中で出会ってほしい魅力ある人たちです。

90年前に書かれた本ですが、今読んでも色あせることはありません。前書きは飛ばして25ページから読んでも大丈夫です。

ケストナー/
偕成社
(943ケ)

言語

「わたしの外国語漂流記 未知なる言語と格闘した25人の物語」

好きだから、取引するから、研究するから、住むことになったから…様々な理由から外国語を身につけた25人の話です。英語はもちろん、オランダ語、ノルウェー語や、文字のないプナン語、ヤノマミ語など、そんな言葉がなぜ必要だったの?!と思うようなマイナーな言語をマスターした人もいます。人は言葉で考えるから、言葉が変わると考える道筋も変わります。例えばプナン語には「薬指」という単語がないそうです。単語がないということは、存在を意識しないということ？外国語の世界に身を置くと何が見えてくるのか、身につけた人たちが見せてくれます。

河出書房新社
(807ワ)